

**旭丘・小竹地域における保護者および地域説明会で寄せられた  
主な意見等に対する区の考え方**

**I 新校の教育活動・学校運営等について**

No.	主な意見	意見に対する区の考え
1	○施設一体型ならではの特色ある学校づくりをしてほしい。	<p>○新たな小中一貫教育校（以下、「新校」という。）は、区としては初めての改築を伴う施設一体型の一貫校となります。設計にあたり、児童・生徒が日常的に交流しやすいように教室の配置を計画するなどの工夫をしています。</p> <p>○他自治体の事例等も参考にしつつ、3大学の学生による合唱指導や留学生との交流といった大学連携の活動をさらに充実させるなど、引き続き、児童・生徒や保護者、地域のご意見を伺いながら、旭丘・小竹地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めていきます。</p>
2	○学校教育法上の学校は何になるのか。	<p>○新校は小中一貫教育校として運営しますが、学校教育法上の取扱いはこれまでどおり小学校、中学校となります。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔参考〕学校教育法 第一章 総則            第一条 学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。</p> </div>
3	○学校名は旭丘小学校、旭丘中学校のままでよいと思う。現在の名前を継続することも含めて検討という理解でよいか。	<p>○新校の校名については、条例上の小・中学校名に加え、一貫校としての一体感を醸成するための通称名を別途設けている事例が多くあります。区内では、大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校が小中一貫教育校として運営しており、両校の名前と併せて、大泉桜学園という通称名を使用しています。</p> <p>○新校の校名については、児童・生徒や保護者、教職員、地域のご意見を伺いながら検討していきます。</p>

4	○小学校卒業時に卒業式や卒業証書授与はあるか。	○小学校卒業時に、卒業式および卒業証書の授与を行います。大泉桜学園では、卒業式で6年生および9年生に卒業証書を授与しています。新校で卒業式をどのように行うかは、今後、検討していきます。
5	○図書館の内容、地域住民との協働活動など、今後の運用面での内容が知りたい。	○図書館の内容や地域開放、地域との協働については、現在の取組等を踏まえつつ、学校や地域と協議しながら検討していきます。

## II 旭丘小学校・旭丘中学校のメモリアル品の保存について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
6	○旭丘小学校では、展覧会の際に歴代の卒業アルバムを展示している。歴代の卒業アルバムや校長先生の写真などはどうなるのか。	○卒業アルバムは、保存できる数に限りはありますが、学校の歴史や財産として図書館等に残したいと考えています。 ○歴代の校長先生の写真は、全てをそのままの形で残すことは物理的に難しいため、写真を小さくして集約したものをパネルにして残す予定です。
7	○旭丘小学校のあさひ山はプールを作る際に掘った土を児童が積み上げて作った思い出のあるものである。旭丘中学校の土俵も歴史のあるものである。現在の小・中学校の全景をジオラマにして残したらよいのではないか。	○教育活動に必要な面積を備えた教室や校庭を整備し、新校舎の配置計画を行うと、あさひ山を残すことができません。 ○土俵については、地域の皆様との協議の中で、今後、これまでと同じ使い方を続けていくのは難しいだろうというお話をいただきました。そのため、土俵を作ることは予定していません。 ○あさひ山で子どもたちが遊んでいる風景などをメモリアル動画や写真として撮影し、当時の様子が分かるような形で記録を残したいと考えています。
8	○あさひ山のような場こそ今の子どもには必要ではないか。	

### Ⅲ 仮設校舎・仮設期間中の学校生活等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
9	○工事中の教育活動に制約があるのは仕方ないが、児童・生徒は一生の思い出をそこでつくることになる。できるだけ工事期間中の活動に配慮してほしい。	○教育活動の制約がなるべく少なくなるよう、学校、関係機関および工事施工者と協力をしながら工事を進めていきます。
10	○工事期間中、運動会や部活動などの教育面への影響はどのような形になるか。近隣の施設を使えるようにするなどのケアがあるのか。	○工事期間中は校庭の全面使用ができないため、工事工程ごとにできるだけ仮校庭を確保できるように計画しています。また、近隣の学校の校庭等を借りるなど、校外施設の利用についても検討していきます。
11	○工事期間中の中学校の部活動はどうなるのか。	○工期によって使える校庭の場所や大きさは変わりますが、どの工期においても体育館が使えない期間はないため、部活動の実施方法等について学校と検討を進めていきます。
12	○工事に関係なく、充実した3年間を送ることができず不安で中学校の選択を迷う。特に部活動は不便なくできるのか早めに明確にしてほしい。	
13	○仮設校舎の建設により校庭が狭くなり、子どもたちの遊び場が減ることを懸念している。仮校庭はどのような形で使っていくのか。	○令和5年1月から小学校の校庭に仮設校舎を建設し、仮設校舎の東西が仮校庭になります。令和6年2月から令和7年2月までの新校舎建設期間に最も仮校庭が狭くなりますが、工事工程ごとにできるだけ仮校庭を確保できるよう計画しています。 ○令和8年1月には北側敷地の第二校庭の整備が終わり、使用できるようになります。令和9年1月からは、南側敷地の第一校庭の整備も終わり、全面使用ができるようになる予定です。

14	○小学校の児童は仮設校舎へ移動せず、新校舎ができるまで既存校舎にいられるのか。	○小学校の児童については、主に既存校舎を使用し、特別支援学級（あさひ学級）、一部の特別教室および図書室等は仮設校舎に移動する想定です。 ○仮設校舎の南側部分が中学校棟、北側部分が小学校と中学校の共用棟となっており、共用棟の一部に特別教室や図書室が入ります。
15	○仮設校舎には、図書室も移設されるのか。	○旭丘中学校のプールは令和5年9月から解体を行いますが、新校のプールが完成するまでの間は旭丘小学校のプールを残す形で計画することで、中学生も小学校のプールを使って授業ができるように配慮しています。 ○令和7年12月に新校舎の教室と第二体育館が完成するため、冬休みの間に引っ越し、令和7年度の3学期から新校舎で授業を受けることができます。 ○令和7年3月に第一体育館が完成をするため、卒業式は新しい体育館で行うことができるよう学校と調整をしていきます。
16	○現在の中学1年生は2年生の2学期から仮設校舎へ移動するが、その際に中学校のプールがなくなると授業もなくなるのか。また、3年生の3月に新校舎の体育館ができるが、卒業式だけ新しい体育館でやるのか。	

#### IV 新校舎の設計・改築工事等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
17	○校舎内でも上履きを使わずに通学時の下足で生活する一足制の導入は考えているか。	○新校舎においては、一足制を導入する予定はありません。
18	○第二校庭が校舎の北側にあり、雨が降ったあと乾きにくいのではないかと。水はけの対策等はどのように考えているか。	○新校舎の日影が第二校庭へ与える影響を検討した結果、表層は土になりますが、水はけに配慮した仕様になっています。
19	○令和7年3月に第一体育館とプールが完成し、12月に児童・生徒が新校舎に引っ越すとある。第一体育館の利用を始めるのは竣工後か、引っ越しの後か。小学校の児童はどちらの体育館を、いつから使うのか。	○第一体育館は令和7年3月から利用できるように努めていきます。また、12月には北校舎全体が完成し、引っ越し後の令和8年1月からは第二体育館が使えるようになります。第二体育館が完成した後に旭丘小学校の体育館の解体を行うことで、工事期間中も常に体育館が2つ使えるように計画しています。 ○小学生は主に第二体育館を使う想定で設計を進めています。
20	○新校舎にはPTA室はできるのか。	○設計の段階で、あらかじめPTA室という専用の部屋を設けることは考えていません。開校後に、学校とPTAで協議をしていただき、運用の中で会議室などの部屋をPTA室として使用することは可能です。
21	○現在、旭丘小学校のPTA室には過去の活動記録等の資料や活動に必要な道具等が保管されている。校内の一室を使わせてもらう形ではなく、可能であればPTA室の設置を検討してほしい。	

22	<p>○図面に記載のある駐輪場は、学校用と複合化施設用で分かれているのか。また、規模はどのくらいか。駐車スペースがあるかも教えてほしい。</p>	<p>○駐輪場は、北側敷地の中に2か所設けており、東門付近の駐輪場は学校用、敷地南側の駐輪場は複合化施設用を想定しています。</p> <p>○学校用の駐輪場については屋根付きが35台、周辺にも駐輪できるスペースを設けています。また、複合化施設用の駐輪場については屋根付きの部分に16台停められる形で計画しています。</p> <p>○駐車スペースについては、北側敷地にはありませんが、南側敷地の建物の東側に設ける予定です。</p>
23	<p>○以前、旭丘中学校の東側の道路がセットバックで広がると車通りが激しくなるのでガードレールを設置してほしいという意見があった。ガードレールを設置した場合、2トンの大型車などが角を曲がって学校に入ることはできるか。</p>	<p>○条例に従って道路の中心から幅員が3mになるようセットバックをすることになるため、旭丘中学校の東側の道路は、少なくとも4.5m程度の幅になる予定です。</p> <p>○現状、この場所にガードレールを設置できるかどうかの結論は出ていませんが、土木部および担当部署と協議をして検討していきます。</p>
24	<p>○現在、旭丘中学校の東門付近に防災倉庫と旭丘2丁目町会の倉庫があり、缶・ビン・ペットボトルの収集場所になっている。防災倉庫は南棟の南側に移るようだが、ごみ収集場所はどうなるのか。</p>	<p>○ごみ収集場所は住民の方と清掃事務所で協議をしていただくこととなります。</p>
25	<p>○新校舎に非常用発電機は設置されるのか。設置される場合、どのくらいの容量か。</p>	<p>○新校舎に非常用発電機は設置する計画はありません。なお、防災機材の発電機は防災倉庫に備えてあります。</p>

26	<p>○太陽光パネルを設置することのだが、ZEB (Zero Energy Building) の対応については今回の設計で考えられているのか。</p>	<p>○本計画は ZEB への対応は行っていませんが、省エネ法の基準に基づき、建物の断熱性能や空調機器の選定を行っています。</p>
27	<p>○図面だけでは分かりづらい。令和5年度はどの体育館を使うのか、教室は今までどおりなのか仮設に移るのかなど、小・中学生でも分かりやすいスケジュール表がほしい。</p>	<p>○令和5年度は、小学校、中学校ともに既存の体育館を使用します。また、令和5年9月から小学校の特別支援学級（あさひ学級）の児童と中学生が仮設校舎の教室を使用します。</p> <p>○図面以外の資料も活用するなど、わかりやすい説明ができるよう努めていきます。</p>
28	<p>○日影になることを知らない方が多い。日影になる住宅の方々を集めて説明会を開き、納得のいく説明をしてほしい。</p>	<p>○日影については、令和4年3月の区の条例に基づく周辺住民説明会や、今回の12月16日・17日の保護者および地域説明会でご説明したほか、近隣にお住まいの方には、資料のポスティングも行っています。日影に特化した説明会は予定していません。</p> <p>○新校舎の設計にあたり、日影については校舎の東側にある住宅地に配慮し、建物の一部を低くすることとしました。</p>

## V 複合化施設・地域開放等について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
29	○現在は旭丘小学校内に学童がなく、新校になったときに学童ができると知った。来年度、再来年度の学童はどんな予定になっているのか。	○来年度、再来年度は新校舎完成前となるため、旭丘小学校に対応する学童クラブとして、栄町児童館学童クラブをご案内しています。新校舎完成までは引き続き、栄町児童館学童クラブをご利用ください。
30	○現在の栄町児童館の学童は区の直営で、特に夏休み中は開始時間が遅い。他校はほとんどが校内に学童があり、運営も民間に委託されている。旭丘小学校の学童はいつ民間委託になるのか。	○新校舎内での学童クラブ開設にあわせて、民間委託する予定です。
31	○新設される学童クラブの定員は何名か。学童で過ごす子どもたちは校庭や体育館を使用できるか。	○学童クラブの定員はまだ確定しておりませんが、栄町児童館学童クラブの受入れ上限数以上の定員は確保していく予定です。 ○校庭や体育館の使用は、学校との調整になりますが、授業終了後の時間帯については、できるだけ使用できるようにしていきたいと考えています。
32	○小竹小学校にも学童クラブを設置してほしい。	○区では現在、ねりっこクラブ早期全校実施を目指しています。小竹小学校についても、今後の児童数の動向等を見定めながら、検討していきます。
33	○栄町敬老館の存続を希望するが、新校の中の街かどケアカフェができると廃止すると聞いている。廃止する場合は、何年後になるのか。	○栄町敬老館は、公共施設等総合管理計画に基づき、街かどケアカフェと地域包括支援センターに機能転換します。新校での街かどケアカフェと地域包括支援センターの運営開始に伴い、敬老館は廃止する予定です。

34	○栄町敬老館を廃止する場合、現在の建物を長寿命化し、栄町保育園のみ存続すると聞いている。2階と3階の跡施設について、住民の意見を聞いて計画をしてほしい。	○現時点で長寿命化改修の計画はありませんが、現在の建物は築50年以上が経過しています。栄町児童館・敬老館の移転後も栄町保育園は引き続き運営を継続しますが、老朽化の状況や将来的な地域の保育需要などを考慮しながら、今後、跡施設も含めた施設全体の取扱いについて検討します。
35	○1階に複合化施設が入っているが、土曜日や夏休み期間中などは、2階から4階の学校部分には物理的に入れないのか、人を置くなどして入れなくするのか。	○複合化施設は学校の出入口や動線と分けて計画しています。なお、図書館および体育館の開放については運営の中で人が立ち入らないような対応をしていきます。 ○図書館および体育館開放の時間帯等の詳細については今後検討していきませんが、学校運営に支障がない範囲で、地域の方にも学校施設をお使いいただけるようにしたいと考えています。

## VI 小竹小学校について

No.	主な意見	意見に対する区の考え
36	○工事期間中から工事完了以降、小竹町に住む新1年生は小竹小学校に進学するのか。新校への進学も可能か。	○就学先の小学校は、お住いの住所地に基づいて教育委員会が指定しており、小竹町にお住まいの方は、原則として小竹小学校に就学となります。 ○練馬区小中一貫教育推進方針（平成28年6月策定）では、小中一貫教育校において、通学区域が重なる場合の指定校変更による受け入れについて柔軟に対応することとしています。（就学の特例） ○新校についても特例を適用し、小竹小学校の通学区域にお住いの方から希望があれば、新1年生から新校に入れるよう対応する予定です。詳細については、決まり次第、保護者にお知らせします。

37	○小竹地域から新校への入学希望者が多く、小竹小学校の児童が想定以上に少なくなった場合、学校運営は円滑にできるのか。区全体で学区域の見直しが必要ではないか。	○区としては、一定の規模での集団生活や学習活動、クラス替えなど、様々な要素を考慮して適正規模の考え方を検討しています。 ○区全体の計画については、35人学級の実施や社会状況の変化を見定めつつ、子どもたちの学びの環境を確保できるよう検討していきます。
38	○小竹小学校は残すこと。	○新校舎は9学年で18クラスを想定して設計しており、小竹小学校の児童全員を受け入れる分の教室数はありません。令和8年度の開校時に統合する予定はありません。 ○小竹小学校については、新校の開校後に、旭丘・小竹地域全体の児童・生徒数や区立学校の改築計画等を踏まえ、保護者や地域のご意見を伺いながら、再度、統合・再編について検討する予定です。
39	○小竹小学校は、新校が開校すると統合されるのか。今後、検討するのか。	
40	○保護者を含む小竹町の住民のために、小竹小学校の今後の考え方について説明会を開いてほしい。	○個別の説明会等については、保護者や地域のご要望に応じて対応していきます。
41	○小竹小学校を早く改築してほしい。	○新校の設置については、児童・生徒数、学級数の現況および将来推計を踏まえ、旭丘小学校と旭丘中学校を先行して準備を開始することとしています。 ○小竹小学校については、新校の開校後に、旭丘・小竹地域全体の児童・生徒数や区立学校の改築計画等を踏まえ、保護者や地域のご意見を伺いながら、再度、統合・再編について検討する予定です。 ○こうしたことから、小竹小学校は改築を行わず、日常点検や法定点検により施設の状況を把握しつつ、必要な改修を行うことにより、施設機能を維持していくこととしています。

## VII その他

No.	主な意見	意見に対する区の考え
42	○説明会の案内は周辺住民にはポスティングしてほしい。町内の掲示板に掲示してほしい。	○説明会のお知らせや小中一貫教育校だよりは、旭丘小学校・小竹小学校・旭丘中学校の保護者、近隣の幼稚園・保育園の保護者にお配りするほか、町会の回覧板で周知を行っています。
43	○子どもが練馬方面の保育園に通っているため、新校に関する説明会等の情報が入ってこない。校名や制服など今後の検討に興味があるが、どうやって情報を得たらよいか。	○旭丘・小竹地域の保育園等に通っていない方、町会に入っていない方については、区ホームページにこれまでの説明会の資料や小中一貫教育校推進委員会の報告書、小中一貫教育校だより等を掲載していますので、大変お手数ですが、そちらをご覧くださいと思います。 ○今後も、きめ細かく検討状況をお伝えしていく必要があると考えています。保護者や地域の皆様にご相談、ご協力をいただきながら、丁寧な情報提供に努めていきます。
44	○ホームページの情報が薄い。これから充実することを期待する。	
45	○説明会は1時間では短すぎる。時間を取ってしっかりと説明会を開催してほしい。	○従来は1時間半程度で説明会を開催していましたが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から時間を1時間に短縮して実施しています。 ○今後の説明会の実施時間については、感染症の状況等を考慮しながら検討します。
46	○マスクをしたまま説明しているのが聞きにくかった。コロナ対策なのかもしれないが、マスクで顔を半分隠したまま話すのは失礼だと思う。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現時点の国の方針に従って、マスクを着用して説明や質疑応答を行っています。マイクの音量や話し方など工夫できる点は改善に向けて検討します。ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

47	○前回から内容が詳細になり、よく分かった。	○これまでは施設面の検討を中心に行ってききましたが、令和5年からは、校名、校歌、校章などソフト面についても具体的な検討を開始する予定です。 ○引き続き、児童・生徒や保護者、地域のご意見を伺いながら、旭丘・小竹地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めていきます。
48	○開校を楽しみにしている。地域に愛され長く活用できる場を計画していただき、ありがとうございます。	
49	○地域住民として新校の建設は応援している。	
50	○今後も子どもたちのために尽力いただけるよう、地域を代表して願います。	